

市民力しゅん
参加無料
託児有
連携講座

江別市男女共同参画セミナー
令和元年 10月20日(日)
13:30▶16:15
江別市民会館37号室

男性も
女性も

令和元年、
誰もが

誰もが
介護
時代

時代
に向けて

第1部 講演 13:30～15:00 定員100名(先着)

「誰もが介護する時代」の 現状把握と社会的課題

札幌学院大学人文学部人間科学科 准教授 講師 新田 雅子氏

講演
①

少子高齢化が急速に進むなか、子育てと同様に介護も、従来の性別役割分業の発想では対処できない現実に私たちは直面しています。いくつかのデータや実態を通して、誰もが介護にかかわる時代になっていくこと、それに向けて必要な発想転換についてお話します。



1974年、札幌市で生まれる。
2003年立教大学社会学研究科社会学専攻博士後期課程単位取得退学。
現職での担当科目は「高齢者福祉論」「社会福祉演習」等、専門は(老い)の社会学。2014年～18年北海道福祉サービス運営適正化委員会苦情解決委員、2016年～18年江別市介護保険事業計画策定等委員会委員長。

妻を介護して— 介護体験談を聴く

講師 小笠原 宏氏

講演
②

小学校長として在職中、妻が若年性認知症を発症。以来20年以上にわたり自宅で介護してきました。夫として、徐々にいろいろなことができなくなっていき妻と向き合い、炊事洗濯などの家事も担ってきました。妻は今年5月にグループホームに入所しましたが、ここに至るまでのさまざまな経験や思いをお伝えしたいと思います。

1944年、浜頓別で生まれる。
北海道教育大学旭川分校を経て2003年まで札幌市内の小学校で教壇に立つ。現職中に妻(当時55歳)が認知症を発症し、以来約20年にわたり介護を担ってきました。

第2部 ワークショップ 15:15～16:15 定員30名(先着)

介護とは、アイデアだ—お互いに気持ちよく、 前向きに介護するための発想トレーニング

「食事を拒否する87歳女性」が目の前にいる、という設定で、いろいろな角度からそのような態度となっている理由を出し合ってみます。
さらにグループ内でこの女性への声掛けの仕方について実践的に考えていただくワークショップです。この体験を通して、お互いの立場に立つことの難しさと、そのために必要な発想力や他者との協力について実感していただきたいと思います。

参加費 無料
託児有 無料(要予約)

日時 10月20日(日) 13:30～16:15
会場 江別市民会館37号室

申込期限 10月16日(水)まで
託児の申し込みも同日まで

申込方法 電話・FAX・Eメール
にて受付(裏面参照)

申込先 江別市生活環境部市民生活課市民協働担当
電話:011-381-1124 FAX:011-381-1070
Eメール: danjo@city.ebetsu.lg.jp 江別市のHPまたはQRコードからアクセスしてください



主催:江別市 共催:江別市男女共同参画推進連絡協議会 この事業は公益財団法人北海道市町村振興協会の助成を受けて実施しています。